こんにちは、
日本共産党井上けんじです
日本共産党南地区委員会 5371-9164 自宅 5（FAX 兼用）６９１－３３２３
日本共産党京都市会議員団 ５２２２－３７２８ FAX 211-2130 '16 年３月 20 日号
市会議員団ホームページ http://web.kyoto-inet.or.jp/org/cpgkyoto/ E-mail cpgkyoto@mbox.kyoto-inet.or.jp

それは私です

市民の生活実態と市長の認識のズレ

待機児ゼロを掲げる安倍首相に対し、ある若いお母さんが「保育所に落ちた」とホームページで発信、首相「誰か分からない」。そこで、全国のお母さんたちが「落ちたのは私だ」と名乗りを挙げ、「待機児ゼロ」に事実で反論しました。京都ではー。

◎市長「保育園の待機児ゼロを達成」
▼ある市民「私も落ちました」
◎市長→「（待機児の定義を狭く限定する）国の基準（注）によれば、ゼロ」と、事実上、本来の意味の待機児の存在は認める方向で答弁を修正。「達成してもすぐまた申し込みがある」などと弁解。
▼ある市民「ずっと待っていますが、老人ホームに入れないのは私です」

（注）保育園待機児の定義について、例えば通勤経路の関係などで、市から言われた保育園はどうしても通えない場合など、「市が折角紹介しているのに、断った」と、こういう場合、待機児には数えない、等々。

◎市長「待機老人の定義を要介護４・５に限定すれば、待機者数を減らすことができる」!?
◎市長「介護離職ゼロは大きな目標」
▼ある市民「私も介護職場を退職しました」
◎市長「中小零細企業を応援している」
▼ある市民「融資を受けられなかった」
▼ある市民「長い間お世話になりましたが、閉店・廃業させて頂きます」
◎市長「市営住宅を提供しています」
▼ある市民「私は、現在、19回落選中です」
▼ある市民「市の入居収入基準が低すぎ、私は給料が高いわけでもないのにちょっとだけ収入が基準を超えるため、申し込み段階でアウトです」
◎市長「京都の教育は日本一」
▼学校では、大麻事件、いじめ、暴力など、心痛む出来事が。
◎市長「国保ではキメ細かい相談に乗っている」
▼「滞納分の分割納付の相談をし、頑張って何とか払おうとしていた矢先に、突然、家を差し押さえられたのは、私です」
◎市長「景観を守る」
▼「下鴨神社の横に済んでいるのは私です」

写真上から、

①大河原としたかさんらと宣伝

３月 11 日朝、近鉄東寺駅前にて、参院選出馬予定の大河原としたかさんらと一緒に街頭宣伝。比例代表では日本共産党、京都選挙区では大河原さんが出馬予定ですと訴えました。

②重税反対全国統一行動

11 日、「３／１３（毎年この時期に開かれるので集会名になっています）重税反対全国統一行動」が全国約 550 カ所で開催され、南区でも集会とパレードが取り組まれ、井上議員も参加。

③バイバイ原発集会

12 日、円山音楽堂にて、「バイバイ原発集会」が開かれ、集会後パレードで市民に訴えました。